

昭和55年度 第9回世論調査「福祉」について

調査の目的

本調査は、「福祉」について、市民の意識・評価・要望などを把握し、基礎資料とすることを目的とした。

調査の概要

1. 調査地域 富士市全域
2. 調査対象者 市内在住の満20歳以上の男女
3. 標本数 1,403人
4. 抽出方法 選挙人名簿から等間隔無作為抽出
5. 調査方法 郵送調査
6. 調査期間 昭和55年11月1日～11月20日

回収結果

1. 発送数 1,403人(100.0%)
2. 回収数 658人(46.9%)

集計表

◆福祉について

問1「社会福祉」ということばからどのようなイメージを持つか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	障害者、寝たきり老人、親のいない児童など社会的に弱い立場にある人たちに国や市が援護をすること	37.3
(2)	すべての住民が物心ともに安心した生活ができるよう社会的に保障すること	22.1
(3)	生活に困っている人を国や市が制度として保障していくこと	18.4
(4)	年金・手当・医療などの社会保障を充実すること	16.5
(5)	共同募金や歳末たすけあい運動など民間の社会福祉活動を行うこと	3.6
(6)	未記入	2.1
	計	100

問2 障害者のための福祉事業でどんなことが重要と思うか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	障害者のための施設を整備する	22.6
(2)	相談や援助指導体制に力を入れる	19.4
(3)	障害児の発生予防や治療訓練などに力を入れる	19.0
(4)	公共施設を中心に生活環境を改善する	14.7
(5)	市民の啓蒙活動を行う	11.9

(6)	家族奉仕員や生活用具支給などのサービス	11.2
(7)	その他	0.6
(8)	未記入	0.5
	計	99.9

問3 市の福祉制度やサービスは行き届いていると思うか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	よく行き届いている	3.0
(2)	まあ行き届いている	32.7
(3)	あまり行き届いていない	31.0
(4)	全く行き届いていない	4.0
(5)	わからない	28.3
(6)	未記入	1.1
	計	100.1

問4 福祉についての知識や情報を何によって得ているか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	広報紙	42.2
(2)	新聞・テレビ	33.9
(3)	知人・友人	6.5
(4)	医療機関の窓口	4.1
(5)	福祉事務所や保健所などの窓口	3.8
(6)	民生委員	3.0
(7)	市議会議員	1.4
(8)	福祉関係の相談員	1.1
(9)	市職員	0.6
(10)	その他	2.6
(11)	未記入	0.7
	計	99.9

問5 福祉を発展させるために、どのようなことに力を入れるべきか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	老人対策	30.2
(2)	医療制度・保健の充実	24.8
(3)	生活困窮者の対策	17.9
(4)	児童対策	11.6
(5)	障害者対策	10.8
(6)	母子・父子家庭対策	2.4
(7)	わからない	1.1

(8)	未記入	1.2
	計	100

問6 生活保護についてどのように考えるか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	生活できなければやむを得ない	80.7
(2)	内容がわからないのでなんともいえない	10.6
(3)	生活に困ったとき受けるのは当然の権利	4.1
(4)	どうあっても受けたくない	3.3
(5)	その他	0.5
(6)	未記入	0.8
	計	100

問7 障害者や老人が困っているのを見たとき、どのように行動しますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	当然のこととして手を貸してあげる	69.8
(2)	手を貸してあげたいが手助けの方法がわからない	19.3
(3)	手助けしようと思うが、他人の目が気になる	6.7
(4)	断られるといやなので手助けできない	2.3
(5)	手助けの必要はないと思っている	0.5
(6)	関心がない	0.6
(7)	未記入	0.9
	計	100.1

問8 老後をどのように生活したいと考えているか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	経験や技術を生かして働きたい	28.9
(2)	家庭のことに役立って家族と楽しく暮らしたい	26.6
(3)	趣味、レクリエーションなどを生きがいとして自由な生活をしたい	25.2
(4)	仲間づくりに参加し交流を深め教養を高めたい	10.9
(5)	奉仕活動で地域の役に立ちたい	5.3
(6)	その他	0.5
(7)	未記入	2.6
	計	100

問9 老後に不安を抱いたたことがある。

番号	選択肢	パーセント
(1)	ある	57.3

(2)	ない	24.8
(3)	わからない	12.8
(4)	未記入	5.2
	計	100.1

問9-1「ある」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	年をとって病気になること	25.4
(2)	仕事をやめたら収入が減り生活していけるかどうか	16.8
(3)	年金制度が不十分だから	13.5
(4)	寝たきりになったとき面倒みてくれる人がいるかどうか	12.4
(5)	配偶者と死別したとき	9.8
(6)	物価が上り、預貯金が目減りしていくこと	6.3
(7)	家族関係がうまくいくかどうか	5.5
(8)	子どもと一緒に住めるかどうか	5.3
(9)	住むところの問題	2.8
(10)	その他	2.3
	計	100.1

問10 老人福祉対策としてどのようなことに重点を置くべきだと思うか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	年金・手当制度の充実	27.7
(2)	生きがい対策	25.3
(3)	保健医療制度の充実	20.6
(4)	老人ホームなどの拡充整備	9.8
(5)	在宅福祉サービス	7.8
(6)	助け合いや連帯感を強めるための啓蒙	6.5
(7)	その他	0.9
(8)	未記入	1.4
	計	100

問11 児童を健全に豊かに育てるためにどのような対策が大切と思うか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	遊び場、児童館などの施設整備	30.7
(2)	子どもに関する相談事業	22.9
(3)	留守家庭児童の対策	12.3
(4)	交通事故などの事故防止	12.3
(5)	子ども会などグループの活動の育成	10.7
(6)	医療費助成の拡大	2.8

(7)	児童手当制度の充実	2.7
(8)	保育園の増設	2.5
(9)	その他	1.3
(10)	わからない	0.8
(11)	未記入	1.1
	計	100.1

問12 心身障害児の福祉対策について何が大切と思うか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	早期発見と治療・訓練の実施	36.4
(2)	発生の予防	20.2
(3)	育成施設の増設	16.4
(4)	啓蒙活動を強化する	14.4
(5)	障害児保育	9.2
(6)	家庭奉仕員の活動強化	1.6
(7)	その他	0.6
(8)	未記入	1.2
	計	100

問13 ボランティア活動をしてみたいと思うか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	思う	53.5
(2)	わからない	30.2
(3)	思わない	14.0
(4)	未記入	2.3
	計	100

問13-1 「思う」と答えた方に伺います。現在ボランティア活動をしていますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	今はできないが将来はやりたい	57.4
(2)	きっかけがあればすぐにもやりたい	31.8
(3)	活動している	10.2
(4)	未記入	0.6
	計	100

問13-2 「思わない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	身近に感じられない	32.6

(2)	よくわからないから	15.2
(3)	知識や技能がないから	14.1
(4)	興味や関心がない	7.6
(5)	成果が期待できそうもない	7.6
(6)	誰かやってくれるから	1.1
(7)	必要がないから	0
(8)	その他	21.7
	計	99.9

問14 社会福祉活動を行う団体をどれだけ知っているか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	共同募金委員会	15.7
(2)	社会福祉協議会	13.7
(3)	里親	13.6
(4)	民生児童委員	12.8
(5)	赤十字奉仕団	12.6
(6)	保護司	12.3
(7)	人権擁護委員	9.3
(8)	JRC	4.7
(9)	更正保護婦人会	3.3
(10)	BBS	1.1
(11)	未記入	0.8
	計	99.9

問15 高福祉高負担の問題についてどう考えるか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	負担増は避けるべし	50.9
(2)	他の予算を削っても負担増は防ぐべし	16.1
(3)	負担増もやむを得ない	15.7
(4)	受益者負担も見直すべし	13.1
(5)	その他	2.4
(6)	未記入	1.8
	計	100